



令和4年度入学式

4月8日(金)に、第77回入学式が行われ、新入生240名が入学しました。同窓会長の伊藤貞嘉様より、力強い激励の言葉をいただき、入学生代表の戸田青依さん(築館中出身)が宣誓を行いました。「これまでの常識が著しく変化している今だからこそ分かります。それは、出会いの大切さです。新たな出会いは、私たちに多くの刺激を与え、自分の選択肢を増やす手助けとなります。高校生活は決して楽しいだけではなく、辛いことも数多くあると思います。しかし、諦めることなく自分の志を強くもち、ここで新しく出会った仲間とともに成長していきたいです。」とこれからの高校生活の決意を述べました。

第六十三回 臙紫定期戦



昨年度の雪辱を果たす!

圧勝!

今まで通りの定期戦へ ~応援団長より~

まずは定期戦開催に当たって尽力して頂いた先生方、生徒会、その他多くの人に感謝を申し上げます。定期戦が例年に近い形で開催できたのも多くの人が尽力してくれたからだろう。

さて、まずは今年の定期戦に勝利できたことをうれしく思う。私たちの代は、コロナの影響で例年通りの定期戦を2年間行うことができなかった。去年は部活動毎に行われたが、勝利を飾ることができず、何も出来ない、やりきれない悔しさがあった。また、定期戦がないことで応援練習を疑問視する声もあった。それでも厳しい練習についてくれた古高生の皆には感謝したい。

最後に、後輩たちに言いたいことがある。これからお前達は古高の顔となる。代々受け継がれてきた古き良き伝統である定期戦を途絶えさせてはならない。来年も勝利し、凱歌を響かせてほしい。

(3年4組 応援団長 今野 晃河 鹿島台中学校出身)

男子バドミントン部活躍!

定期戦12年ぶりの勝利!

開始10分で負けが確定という完敗の昨年のリベンジを、と臨んだ今年の定期戦。古高が2勝1敗とリードし迎えたシングルスは白熱した戦いが繰り広げられました。2試合同時展開で進むゲームは2試合ともファイナルゲームまで纏れ込みました。両校の生徒が祈るよう見つめる中、熱戦に終止符を打ったのは、第三シングルスの3年山崎奨太でした。相手の返球がアウトになり勝ちが決まった瞬間、みんなが彼に駆け寄り喜びを爆発させました。

結果として3勝2敗で12年ぶりの勝利を挙げる事ができ、古高の勝利に大きく貢献できたのではないかと思います。

共に戦った選手、応援してくださった生徒・先生方には感謝の気持ちで一杯です。応援ありがとうございました。これからも男子バドミントン部をよろしく願います。

(3年4組 嘉登 一颯 田尻中学校出身)

第63回臙紫定期戦勝敗表

	築館	古川	
硬式野球	中止		
ソフトテニス(男)	1	4	○
ソフトテニス(女)	2	3	○
バレーボール(男)	0	2	○
バレーボール(女)	○	2	0
卓球(男)	2	3	○
卓球(女)	1	2	○
剣道(男)	0	4	○
剣道(女)	○代	1	1
バスケットボール(男)	○	69	47
バスケットボール(女)		43	58 ○
サッカー		0	1 ○
バドミントン(男)		2	3 ○
バドミントン(女)	○	5	0
総合	4勝		9勝

新生古高スタート ~生徒会長より~

1年生の皆さんは古高での生活にはもう慣れましたか。私服登校も解禁され、いよいよ古高生としての実感が湧いてきた頃ではないかと思います。さて、4月の晴天の中行われた対面式では、今年度初めて全校生徒が一堂に会し、素晴らしい1年のスタートを切ることができました。そして流れそのままに、定期戦で築館に勝利し、総体では多くの部活が優秀な成績を収めることができました。これには各選手の日々の積み重ねはもちろん、全校生徒の応援が大きく寄与したと言っても過言ではありません。古高の結束力が存分に発揮された場でした。1, 2年生には定期戦の連勝記録更新、総体では更なる高みを目指して来年度以降も奮闘してほしいと思います。既に引退した3年生も次の目標に向かって精進しよう! まだまだ制約の多い世の中ですが、チーム古高でどんなに高い壁も乗り越えていきましょう!!

(3年5組 生徒会長 千葉 禎久 不動堂中学校出身)

男子ソフトテニス部 大崎地区制す!

祝! 優勝!



私たち男子ソフトテニス部は、先日行われた大崎地区大会に出場しました。前日に行われた個人戦で優勝した荒井・伊東ペアをはじめとするチーム全員が一丸となり、準決勝で小牛田農林Aチーム、決勝で古川工業Aチームに2-0で勝利し、優勝することができました。大会当日は、あまり慣れていないコートでの試合となりましたが、自分たちから積極的に攻め、そして自分たちが先にミスしないことを意識して戦ったことが良い点だったと思います。また、2年生のチームも第3位となり、来年も優勝し、連覇してくれることを期待しています。

団体

県大会では、地区よりもレベルの高い試合が多くなるので、チャレンジャーとしての心を持って、目標である東北大会出場を目指して最後の一球まで諦めずに戦います。

“戦いとは常に二手先三手先を読んで行くものだ”

—シャア・アズナブル—

(3年6組 渡邊 煌大 古川東中学校出身)



個人

先日行われました大崎地区総体ソフトテニス男子個人戦において、荒井・伊東ペアは優勝することができました。優勝した瞬間喜びもありましたが、信じられず、「え?俺らって本当に優勝した?」という一言だけが出てきただけで、お互いに3秒間ほど見つめ合ったのを覚えています。優勝するまでの道のりは長く、特に辛かったのは、どの大会に出ても思うような結果が出ず、テニスへのモチベーションや情熱を保ち続けることでした。でも、そんな時立ち上がることはできたのは、石川先生をはじめとする先生方、家族、友人のおかげでした。本当に感謝しています。ちなみに、荒井君に勝因を聞いたところ、「こち亀を見ることだよ〜」と言っていました。テニスと関係あるかは分かりませんが、上手いかわからないときでも、これを見たら頑張れるという自分なりのモチベーションを保つ方法を見つけることが大事なのかなと思います。

“希望と野望の二文字を忘れてはだめだ!”

—一両津勘吉—

(3年2組 伊東 慈弘 古川中学校出身)

開校記念講話

本校は5月3日で開校126年を迎えました。本年度の開校記念の行事として、5月2日に本校卒業生で、現在凸版印刷株式会社代表取締役社長をされている磨秀晴氏の講演会のVTRを全校生徒で視聴しました。この講演会は昨年「おおさき青年会議所」の主催で行われたものですが、模擬試験と重なり多くの生徒は参加できなかったため、今回の視聴は生徒たちにとって大変貴重な機会となりました。

目標を持って努力と挑戦を続けて人間力を鍛えることの大切さや、他者を認めコミュニケーションをとることの重要性が、磨氏の実験の体験談をもとに語られました。一人一人の成長が信頼関係を生み、個人や組織を成長させるのだということを生徒たちは学ぶことができました。



令和3年度卒業生合格状況

I 国立大学		合格数	II 公立大学		合格数	III 私立大学		合格数	IV 短大・専門学校等		合格数	VI 過卒者		合格数
北海道教育大釧路校	1		青森公立大	1	東北学院大	160	仙台青葉学院短大	4	北海道大	1				
北海道教育大函館校	3		岩手県立大	2	東北福祉大	41	山形県立米沢女子短大	3	東北大	2				
室蘭工業大	1		宮城大	8	宮城学院女子大	57	会津大短大部	1	横浜国立大	1				
弘前大	3		高崎経済大	3	東北工業大	38	岩手県立二戸高等看護学院	1	山梨大	1				
岩手大	15		前橋工科大	1	東北文化学園大	16	水沢学苑看護専門学校	1	長岡造形大	1				
東北大	4		群馬県立県民健康科学大	2	東北医科薬科大	5	気仙沼市立病院附属看護専門学校	1	神戸市立外語大	1				
宮城教育大	12		横浜市立大	1	石巻専修大	7	仙台医療センター附属看護専門学校	1	東北医科薬科大	1				
秋田大	4		新潟県立大	1	尚綱学院大	7	その他	16	東北福祉大	1				
山形大	11		三条市立大	1	仙台大	4	短大・専門学校等計	28	慶應義塾大	1				
福島大	3		富山県立大	1	仙台白百合女子大	4	V 就職	合格数	中央大	2				
国立大学合格者計		69	都留文科大	4	青山学院大	3	アイリスオーヤマ(株)	1	東洋大	1				
			山梨県立大	1	慶應義塾大	1	国家公務員	1	法政大	1				
			県立広島大	1	中央大	4	宮城県職員	1	武蔵野美術大	1				
			公立大学合格者計	27	法政大	1	大崎市職員	2	立教大	1				
					明治大	3	色麻町職員	1	立命館大	1				
					その他	148	就職内定者計	6	過卒四大合格者計	17				
					私立大学合格者計	499								